

「農筑センター国内研修生宿泊棟（20）建築改修その他工事」の概要（参考）

本資料は、本工事の概要をお知らせするための参考資料で、契約図書の一部ではありません。本工事の詳細な内容に関しては、設計図書及び現場説明書等をご覧ください。

1. 工事の概要

本工事は、茨城県つくば市観音台2-1-9において農筑センター国内研修生宿泊棟（20）建築改修その他工事の施工を行うものです。

本施設のエレベーター設備は、宿泊施設の利用者及び清掃業者が荷物搬入のために使用する設備であり、完成後24年経過していることから経年劣化による老朽化が著しく、故障も頻発しているため、更新を行うものです。また、更新の際に油圧式エレベーターからマシンルームレスエレベーターに変更するためシャフト拡張が必要となるため、エレベーターシャフトの拡張とエレベーターの更新を行うものです。

(1) 主な工事内容

- ・エレベーターシャフトの拡張に伴う建具・内装改修
- ・エレベーターの更新

(2) 施工時期、施工時間、施工手順（想定）

- ・K-01 図（29/44 図）参照

(3) その他留意点

- ・11月以降居抜き工事可能

2. 実態を踏まえた積算の運用、施工条件等の円滑な協議等

本工事において、以下の取組みを実施しています。

(1) 実態を踏まえた積算の運用

予定価格の算出にあたり、本人負担分の法定福利費相当額を反映した「公共工事設計労務単価」を用いるとともに、法定福利費相当額が反映された見積書式の活用を行う等、実態を踏まえた価格設定を行います。

(2) 施工条件等の円滑な協議

施工計画の立案にあたり新たに必要となった調査、工事施工に関して、新たに発生した条件等について監督職員と協議した結果、請負代金額の変更が必要と判断された内容については、設計変更の対象となります。

(3) 工事関係図書等の効率化

本工事は、受発注者相互の業務の効率化と品質向上を目的とし、「工事関係図書等の効率化」を行う工事です。工事関係資料の重複提出を避けるとともに、真に必要な最小限の工事関係図書等の作成及び管理を重点的に行うこととし、効率化できる書類について監督職員と協議した上で書類作成等を行うこととなります。工事関係書類一覧表は次のURLよりダウンロードすることができます。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/eizen/gijyutu/index0000001.html>

(4) 入札時積算数量活用方式の適用

本工事は、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加することを通じ、工事請負契約の締結後において、当該積算数量に疑義が生じた場合に、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関して確認及び協議を行うことができる「入札時積算数量活用方式」を適用します。

(5) 見積活用方式の試行

建築関係工事の円滑な施工確保を図るため、実勢価格を予定価格に適切に反映する「見積活用方式」を試行します。工事内容の一つである躯体改修工事に関し、発注者が求める項目について、入札参加者から見積価格を記載した見積書及び根拠資料（法定福利費を含むこと）の提出を求め、その妥当性が確認できた見積価格を予定価格作成のための参考とします。

(6) 工期に応じた共通費の算定

予定価格の算出にあたり、農筑センター国内研修生宿泊棟の共通仮設費及び現場管理費については、工事費に対して工期が著しく長期となるため、必要となる費用を積み上げにより加算しています。

(7) 週休2日促進工事の試行

週休2日工事（現場閉所）の実施に伴う労務費の補正等の試行を実施します。なお、本工事は、受注者が発注者へ週休2日に取組む旨を協議して取組む受注者希望方式を適用します。